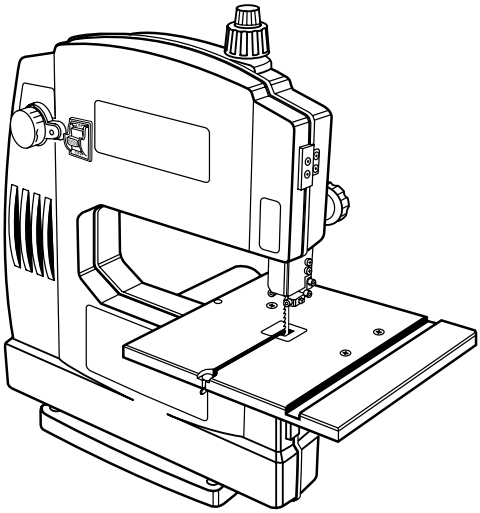
RYOBI

卓上バンドソー

TBS-80

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

・安全上のご注意 …… 1～5
・梱包明細 …… 6
・各部の名称・ …… 7
・仕様・用途・別販売品 …… 8
・組立て …… 9～11
・操作方法 …… 11～18
・切断作業 ……19～20
・保守と点検 ……21～22

6986764

このたびは、リョービ卓上バンドソーをお買い上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文の「⚠ 警告」、「⚠ 注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ 警告」と「⚠ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、⚠ 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
⚠ 警告 ・ ⚠ 注意 以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「⚠」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠ 警 告

安全作業のために：

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
   - ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
   - 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
   - 作業場は十分に明るくしてください。
   - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
   - 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
4. 子供を近づけないでください。
   - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
   - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
   - 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

⚠ 警 告

6. 無理して使用しないでください。
   ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
   ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
   ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
   ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがあるので着用しないでください。
   ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
   ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
   ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音保護具を着用してください。
   ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
   ・電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
12. コードを乱暴に扱わないでください。
   ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引張って電源コンセントから抜かないでください。
   ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
13. 無理な姿勢で作業をしないでください。
   ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
14. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
   ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
   ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
   ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
   ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
   ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
15. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
   ・使用しない、または修理する場合。
   ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
   ・その他危険が予想される場合。

⚠ 警 告

16. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
    ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
17. 不意な始動は避けてください。
    ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
    ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
18. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
    ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
19. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
    ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
    ・常識を働かせてください。
    ・疲れている場合は、使用しないでください。
20. 損傷した部品がないか点検してください。
    ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
    ・可動部分の位置調整、および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
    ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
    取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
    スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
    ・スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
    ・異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。
    そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。
    ＜異常・故障例＞
    ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
    ・電源コードに深いキズや変形がある。
    ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
    ・焦げくさい臭いがする。
    ・ビリビリと電気を感じる。
    ・スイッチを入れても動かない。　　等
    すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。
21. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
    ・この取扱説明書、およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

⚠ 警　告

22. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
・ 修理は、必ずお買い上げの販売店にお申しつけください。
・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

卓上バンドソーご使用に際して

先に電動工具としての共通の警告･注意事項を述べましたが、卓上バンドソーを使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

1. 必ずアース（接地）してください。
・アースしていないと感電の原因になります。
2. アース線をガス管に接続しないでください。
・ガス管に触れると爆発の恐れがあり、事故の原因になります。
3. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
･表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
4. 使用前に本体を安定した台などに固定してください。
・ 確実に本体が固定されていないと、作業中に本体が振れたり、倒れたりしてけがの原因になります。
5. ソーカバーは、必ず材料の近くまで降ろして使用してください。（P13 参照）
・帯ノコ刃が露出したままでの使用は、けがの原因になります。
6. 使用中は、帯ノコ刃や回転部、切粉などの排出部に手や顔などを近づけないでください。
・けがの原因になります。
7. 帯ノコ刃は指定のものを使用してください。また、正しい方法で確実に取付けてください。
・指定以外のものは、けがの原因になります。
8. 切断する材料は、しっかりと保持してください。
・保持がゆるいと、けがの原因になります。
9. 長い材料や重い材料を加工する時、切断中に材料の重みなどでバランスが崩れ、帯ノコ刃をはさみつけないよう注意してください。
・帯ノコ刃がはさみつけられますと、けがや故障の原因になります。

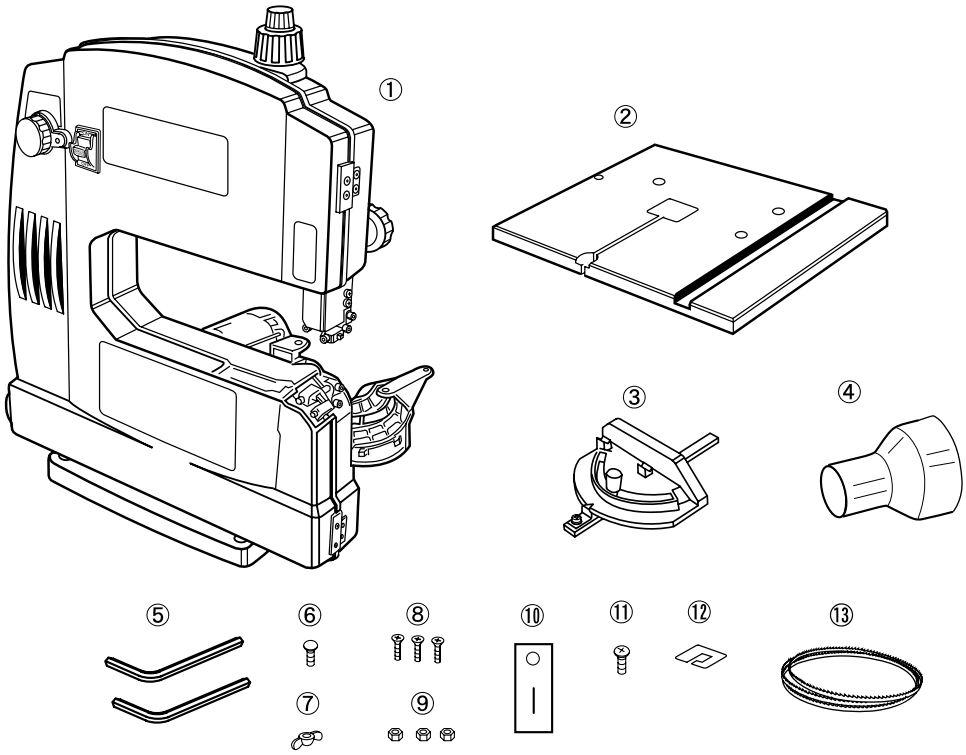
⚠ 警　告

10. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
    ・そのまま使用していると、けがや故障の原因になります。
11. 誤って落としたり、ぶつけたときは、帯ノコ刃や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
    ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
12. 使用しないときは、スイッチを切り、必ず電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
13. 帯ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
    損傷、変形した帯ノコ刃は新しい帯ノコ刃に交換してください。
    ・けがの原因になります。
14. 切断時には、必ず刃口板を取付けて使用してください。また、刃口板が損傷したときは新しいものと交換してください。
15. 丸太など安定しない材料は切断しないでください。
    ・木材が動いた場合、帯ノコ刃が損傷してけがの原因になります。
16. 延長コードは、アース中継線を備えた３芯コードを使用してください。
    ・アース線のない２芯コードですと、感電の原因になります。

⚠ 注　意

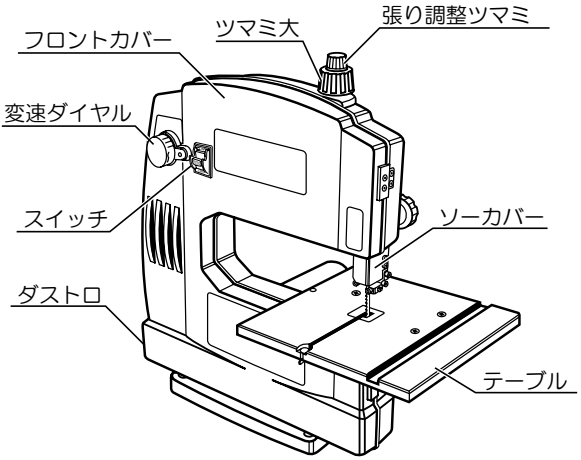
1. 帯ノコ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
    ・確実でないと、外れたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手などの巻込まれる恐れのある手袋は着用しないでください。
    ・回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
3. 作業前に、帯ノコ刃を空転させ、本体の振動や帯ノコ刃の振れなどの異常がないことを確認してください。
    ・異常があるとけがの原因になります。
4. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
    ・刃こぼれや、反発から思わぬけがの原因になります。
5. 切断しようとする材料の前方や切断線上に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業をしないでください。
    ・手を切ったり、コードを切断し感電の恐れがあります。
6. スイッチを切った後も、惰性で回転している帯ノコ刃に注意してください。
    ・手などが触れると、けがの原因になります。
7. 作業直後の帯ノコ刃は高温になっていますので触れないでください。
    ・やけどの原因になります。
8. 連続作業するとモーターが高温になることがありますので触れないでください。
    ・やけどの原因になります。
9. 本体を作動させたまま、放置しないでください。
    ・けがの原因になります。
10. 帯ノコ刃の取扱いは刃先に注意して、けがをしないようにしてください。

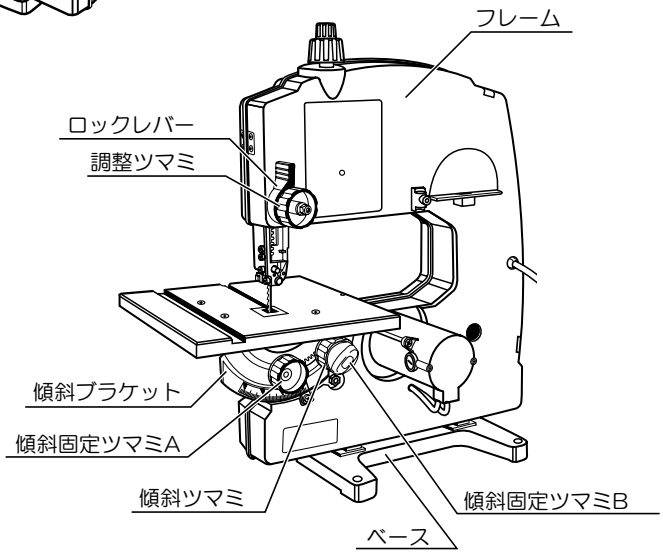
■梱包明細



No	名　称	数量	No	名　称	数量
1	本体	1	8	皿小ネジ	3
2	テーブル	1	9	ナット	3
3	マイターゲージ	1	10	指示板	1
4	集じんアダプタ	1	11	小ネジ	1
5	六角棒レンチ（3mm,4mm）	各1	12	刃口板	1
6	ボルト	1	13	帯ノコ刃	1
7	蝶ナット	1	-	取扱説明書	1

■各部の名称


フロントカバー
ツマミ大
張り調整ツマミ
変速ダイヤル
スイッチ
ソーカバー
ダストロ
テーブル


フレーム
ロックレバー
調整ツマミ
傾斜ブラケット
傾斜固定ツマミA
傾斜ツマミ
傾斜固定ツマミB
ベース

■仕様

・電源 ····· 単相・交流　100 V　50/60 Hz
・定格電流 ·····5.0 A
・消費電力 ····· 320 W
・無負荷帯ノコ刃周速 ····· 1.5 ～ 15 m/s
・帯ノコ刃（周長） ·····1445 mm
・フトコロ寸法 ·····280 mm
・最大切断厚さ ····· 80 mm
・コード長さ ····· 2 m
・本体寸法（長さ×幅×高さ） ····· 622 × 317 × 622 mm
・質量 ·····13 kg

■用途

・各種木材の切断
※別販売品の帯ノコ刃を使用してプラスチック、軟らかい金属の切断ができます。
鉄板の切断はできません。

■別販売品

・集じんホース　長さ 2.5m、本体接続側（外径）30mm、集じん機接続側（外径）38mm
長さ 2.5m、本体接続側（内径）38mm、集じん機接続側（外径）38mm

・帯ノコ刃

刃幅×周長×歯数 / インチ	用　途
6.35mm × 1445mm × 6 山（付属品）	木材の切断
3.18mm × 1445mm × 15 山	薄い木材の曲線切り プラスチックの切断（厚さ 12mm 以下） アルミ、真鍮、銅板の切断（厚さ 6mm 以下）
6.35mm × 1445mm × 4 山	厚い木材の直線切断

■組立て

⚠ 警　告
・組立ての前に本体のスイッチが切れていること、電源プラグが電源コンセントから抜いてあることを確認してください。不意な始動によるけがの原因になります。

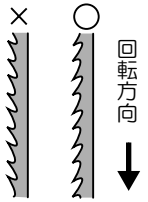
●帯ノコ刃の取付け

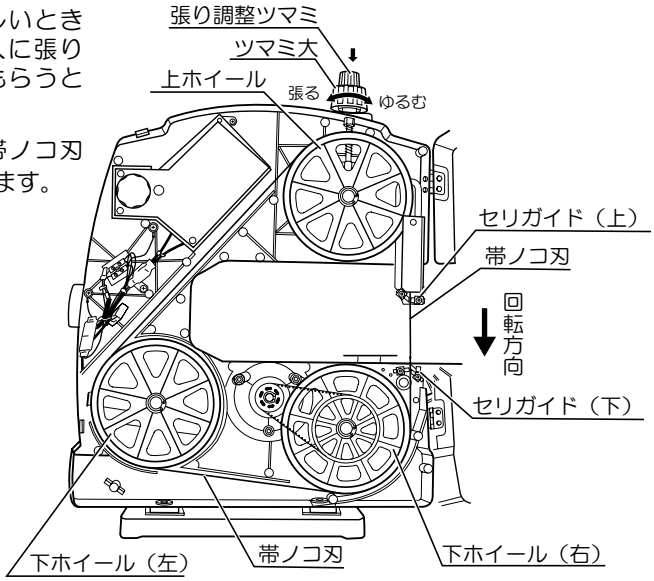
⚠ 警　告
・帯ノコ刃を取出す時は、長そでの上着、軍手などを着用して腕や手を保護し、顔などに帯ノコ刃を近づけないようにしてください。また帯ノコ刃をほどく際には、帯ノコ刃自身がほどけようとしますので、けがをしないよう刃先に注意してください。

1. 帯ノコ刃をほどいた状態で、帯ノコ刃に防錆油が残っていないか確認してください。防錆油が残っている場合には、ウェスなどで裏表ともに拭き取ってください。油で帯ノコ刃とホイールが滑り、帯ノコ刃が安定しません。
2. フロントカバーを開きます。(P13 参照)
3. ツマミ大を矢印（ゆるむ）方向に回してロックが解除されていることを確認します。
4. 帯ノコ刃の向きと機械の回転方向に注意して、帯ノコ刃を上ホイール、下ホイール（左）に掛け、張り調整ツマミを上から押さえた状態で上下のセリガイドを通してから下ホイール（右）にはめます。
5. ツマミ大を矢印（張る）方向に回してロックをします。
6. 上ホイールを軽く時計回りの方向に回し、帯ノコ刃がホイールのほぼ中央位置で安定して回ることを確認します。帯ノコ刃が中央位置にない場合は、P14（帯ノコ刃の位置調整の項）を参照して調整してください。

⚠ 帯ノコ刃の取付けが難しいときは、無理をせず、他の人に張り調整ツマミを押さえてもらうと簡単に行なえます。

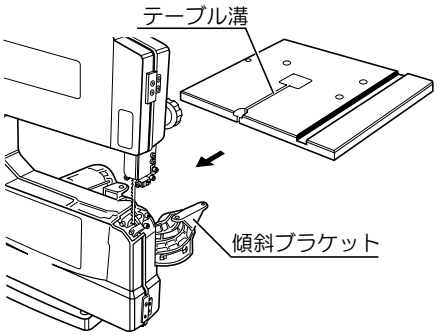
⚠ セリガイドを広げると帯ノコ刃の取付けが簡単に行なえます。



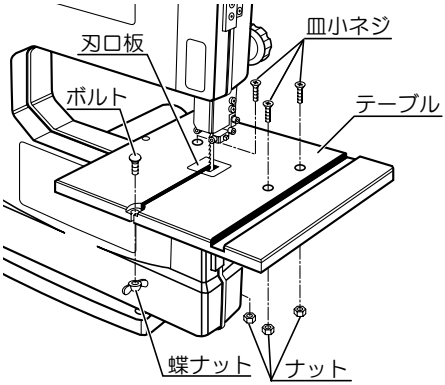


●テーブルの取付け

・帯ノコ刃の背側より帯ノコ刃とテーブルの溝を合わせ、挿入します。

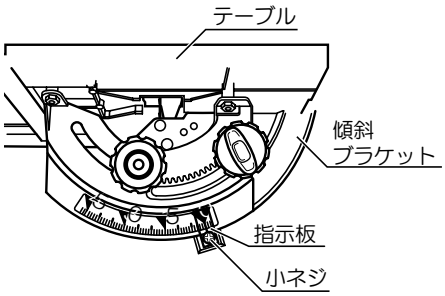


・傾斜ブラケットのネジ穴とテーブルのネジ穴を合わせ、3本の皿小ネジ、ナットで取付けます。
・テーブルの切欠き部をボルトと蝶ナットで固定します。
・テーブルに刃口板をはめ込みます。



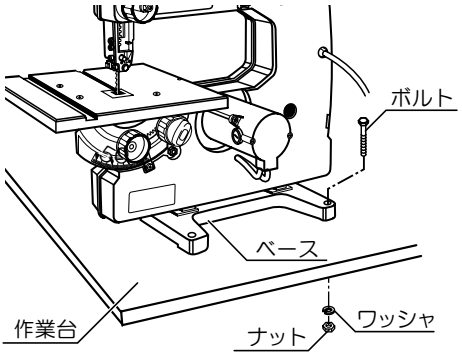
●指示板の取付け

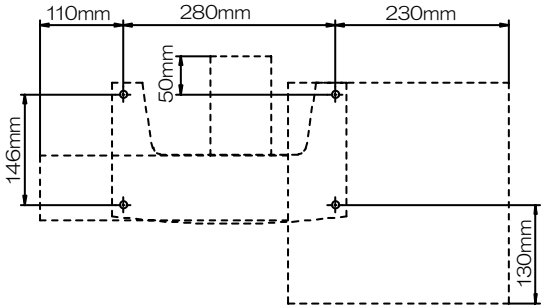
・指示板をフレームに小ネジで取付けます。
（テーブル調整を行なった後、指示板の位置調整を行なってください。P15 参照）



●作業台への設置

・本機を本体ベース部の４ケ所の穴を利用して傾斜のない平坦な作業台などの上に動かないように、市販のボルト (M10)、ナット (M10)、ワッシャ (M10) などを使用して固定してください。
前側の２ケ所は、フロントカバーを開いてから行なってください。（P13 参照）





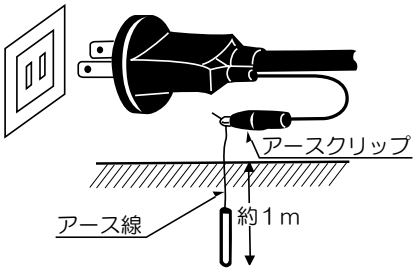
■操作方法

●漏電しゃ断器について

・ご使用前に、本機が接続される電源に感電防止用漏電しゃ断装置（漏電しゃ断器）が設置されていることを確認してください。

●アースについて

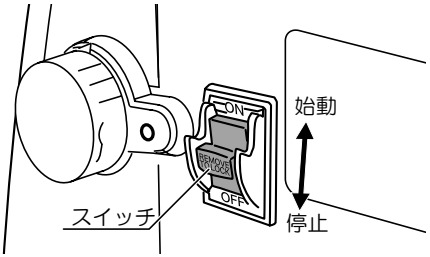
・感電事故防止の為、ご使用に先立ち必ず接地（アース）してください。接地する場合はコード端にあるアースクリップを使用してください。
・アースクリップやアース線に異常のないことを確認してください。テスターや絶縁抵抗計でアースクリップと本体の金属部（外部）間の導通を確認してください。
・アース棒やアース板を地中に埋込み、アース線を接続する工事は、電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店に相談してください。



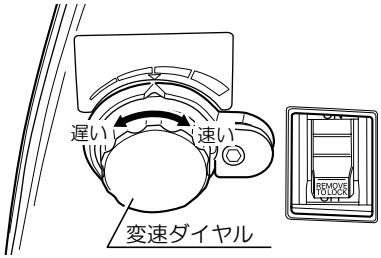
●スイッチの扱い方

⚠ 警　告
・使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

・スイッチ操作はスイッチを上へあげると（ON）始動します。スイッチを下へさげると（OFF）停止します。
帯ノコ刃などの各調整、締付けを確認した後、スイッチを入れてください。



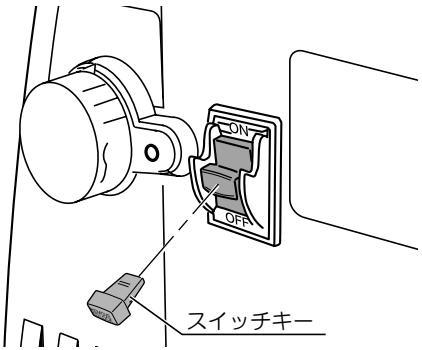
・変速ダイヤルを左右に回すことにより、帯ノコ刃の周速度を無段階に調節できます。変速ダイヤルに 1.5 ～ 15m/s を表示しています。下表を参考にして作業に合った周速度に調節してください。
⚠ 本機には過負荷保護装置が付いています。使用中に装置が作動して機械が止まった場合には、材料を少し戻して刃物から離し、一度スイッチを切った後、スイッチを入れ直してください。



〈スイッチダイヤル目安表〉

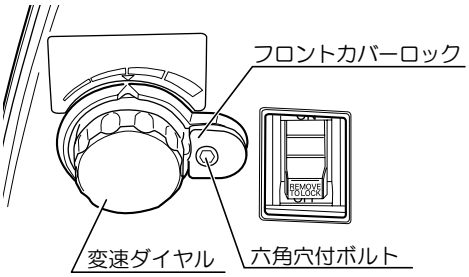
加工材	木材	プラスチック	アルミ板	真鍮	銅板	鉄板
周速度	12.5m/s ～	6m/s	5.5m/s	4m/s	2m/s	切断不可

・使用しないときや保管、持ち運ぶときは、スイッチをロックされる事をおすすめします。
スイッチをロックするには、スイッチを OFF にし、スイッチキーを引抜いてください。スイッチキーを抜いていればスイッチは作動しません。使用するときは、スイッチキーをさし込んでください。



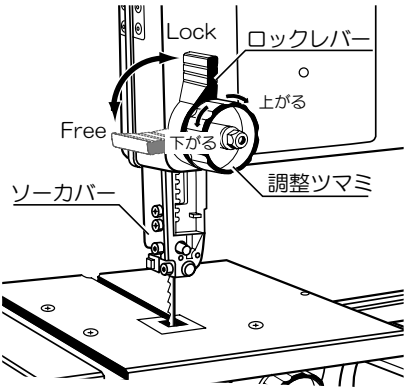
●フロントカバーの開き方

・帯ノコ刃の交換、調整時に開いてください。
⚠ 作業時は、必ずフロントカバーを閉じてから切断作業を行なってください。
・フロントカバーの開き方は、六角棒レンチ4mm で六角穴付ボルトをゆるめてフロントカバーロックを取外し、本体左側面の突起部を持ってフロントカバーを開きます。
⚠ 帯ノコ刃の交換、調整後はフロントカバーを閉じ、フロントカバーロックを必ず取付けてください。



●ソーカバーの調整

・切断する材料の厚さに合わせ、ソーカバーを上下に移動して帯ノコ刃が必要以上に露出しないように調整してください。
・調整方法は、ロックレバーを矢印（Free）方向に回してロックを解除します。
調整ツマミを回してソーカバーを切断する材料の上面にできる限り近づけてください。（材料とソーカバーの隙間は３～ 4mm 程度）
ロックレバーを矢印（Lock）方向に回してソーカバーをロックします。

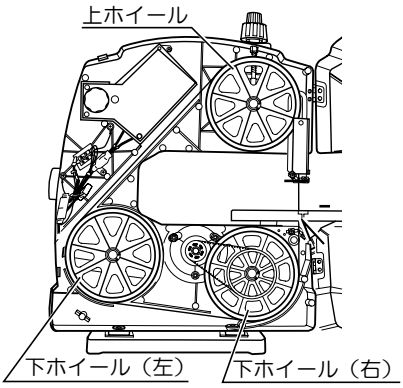


●帯ノコ刃の調整

⚠ 警　告
・帯ノコ刃の調整の際はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。 ・帯ノコ刃は適正な緊張で使用してください。過度の緊張は帯ノコ刃の寿命を縮めます。また、ゆる過ぎると帯ノコ刃の飛び出しの原因になります。
⚠ 注　意
・帯ノコ刃の取扱いは刃先に注意して、けがをしないようにしてください。

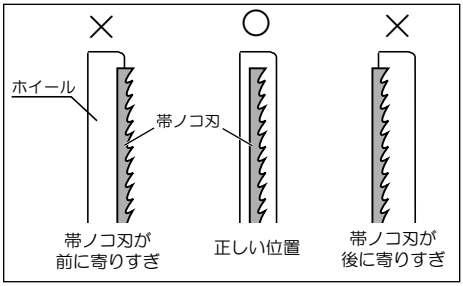
〈位置調整〉

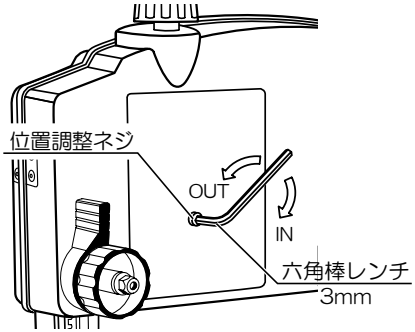
- フロントカバーを開きます。（P13 参照）
- 手で上ホイールを時計回りの方向に回し、帯ノコ刃が３つのホイールのほぼ中央位置を通っているか確認してください。中央位置にない場合は、下記要領で位置調整を行なってください。
- 調整後はフロントカバーを閉めてください。

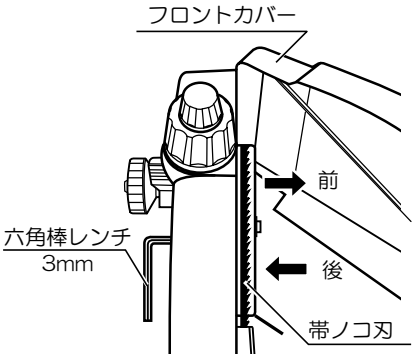


《調整方法》

1. 本体裏側の位置調整ネジに六角棒レンチ 3mm をさし込みます。
2. 上ホイールを手で回しながら、六角棒レンチで位置調整ネジを少しずつ回して調節します。帯ノコ刃が後に寄りすぎている場合は矢印（OUT）方向に、帯ノコ刃が前に寄りすぎている場合は矢印（IN）方向に回してください。
   ⚠ 位置調整ネジは、左右半回転（180°）以上は回さないでください。



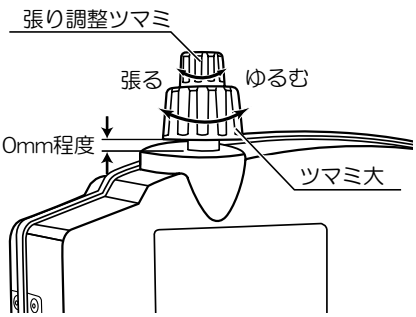




〈張り調整〉

- 本機使用時の帯ノコ刃の張りは、ツマミ大とフレームの隙間が 10mm 程度で適正な張りになります。
- ツマミ大とフレームの隙間は、張り調整ツマミを回して調整します。（張り調整ツマミをゆるめすぎるとホイールが外れることがをあります。）
- ツマミ大を矢印（張る）方向に回してロックした状態でバネによって自動的に適正な張りになります。

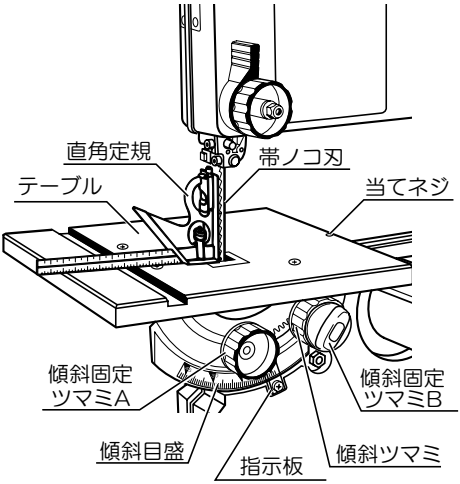
  ⚠ 帯ノコ刃は使用していますと少し延び、ツマミ大とフレームの隙間が広くなることがありますので調整してください。



●テーブルの調整

〈水平〉

- ソーカバーを一杯に上げ（P13 参照）、傾斜固定ツマミ A,B をゆるめます。
- 直角定規をテーブルに置き、帯ノコ刃に当ててください。帯ノコ刃に対してテーブルが直角になるように傾斜ツマミを回してテーブルを調整し、傾斜固定ツマミ A,B を締付けてください。
- 六角棒レンチ 3mm でテーブルの当てネジをフレームに当たるまで回してください。
- 指示板の赤線を傾斜目盛の”０”位置に合わせてください。



〈傾斜〉

- テーブルの傾斜は、傾斜固定ツマミ A,B をゆるめ傾斜ツマミを回して０～左 45° の範囲で調整できます。（傾斜目盛は目安にしてください。）

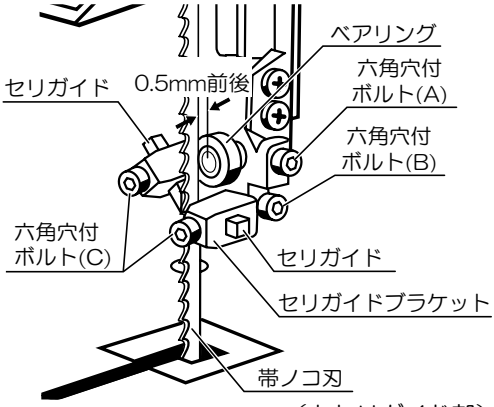
  傾斜角度設定後は、傾斜固定ツマミ A,B をしっかりと締付けてください。

●セリガイド部（上下）の調整

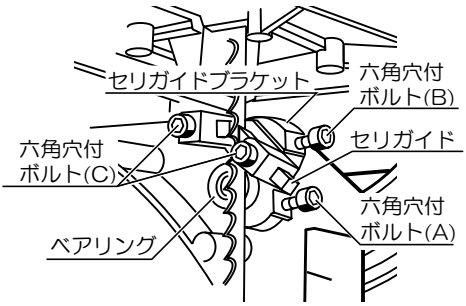
・セリガイド部の調整良否が切断性能を左右しますので、テーブルの上下にあるセリガイド部は必ず作業前に調整してください。調整には六角棒レンチ 4mm を使用してください。

〈ベアリングの調整〉

・ベアリングは切断中に帯ノコ刃が押されて逃げるのを防ぎます。
・ベアリングの調整は、六角穴付ボルト (A) をゆるめ、ベアリングを前後に動かします。帯ノコ刃の背とベアリングとの間隔を 0.5mm 程度に調整してください。
調整後は、六角穴付ボルト (A) をしっかり締付けてください。



（上セリガイド部）

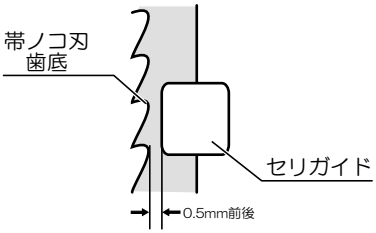


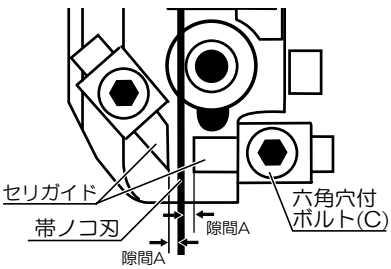
（下セリガイド部）

〈セリガイドの調整〉

・セリガイドは帯ノコ刃が変形するのを防ぎます。
・セリガイドの位置調整は、六角穴付ボルト (B) をゆるめ、セリガイドブラケットを前後に動かして、セリガイドが帯ノコ刃の歯底より 0.5mm 程度後側になるように調整してください。
調整後は、六角穴付ボルト (B) をしっかり締付けてください。
・セリガイドと帯ノコ刃の隙間の調整は、六角穴付ボルト (C) をゆるめ、左右のセリガイドを動かして、セリガイドと帯ノコ刃の隙間 A が薄い紙が 1 枚通る程度になるように調整してください。
調整後は、六角穴付ボルト (C) をしっかり締付けてください。

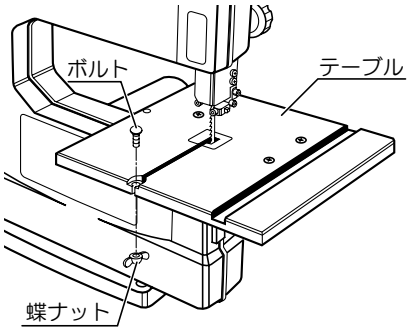
⚠ セリガイドで帯ノコ刃をはさみつけないようにしてください。



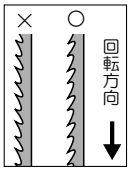


●帯ノコ刃の交換

⚠ 警 告
・帯ノコ刃の交換のときは、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
⚠ 注 意
・帯ノコ刃は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実でないと外れたりし、けがの原因になります。 ・帯ノコ刃の取扱いは刃先に注意して、けがをしないようにしてください。

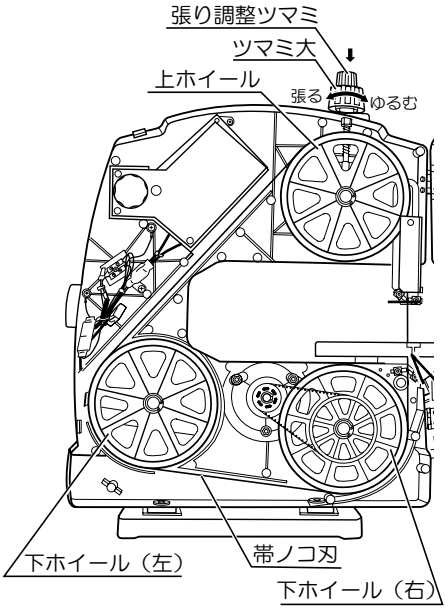


1. テーブルの切欠き部の蝶ナットをゆるめて、ボルト、蝶ナットを取外します。
2. フロントカバーを開いてください。(P13参照)
3. ツマミ大を矢印（ゆるむ）方向に回してロックを解除します。
4. 張り調整ツマミを上から押さえた状態で上ホイールから慎重に帯ノコ刃を取外してください。
5. 帯ノコ刃の刃先方向と回転方向に注意して、新しい帯ノコ刃を取付けます。



上ホイールから下ホイール（左）に帯ノコ刃を掛け、張り調整ツマミを上から押さえた状態で下ホイール（右）に帯ノコ刃をはめ込みます。

6. 上ホイールを軽く時計回りの方向に回し、帯ノコ刃がスムーズに回転することを確認してください。
7. ツマミ大を矢印（張る）方向に回してロックします。
8. フロントカバーを閉じ、フロントカバーロックを必ず取付けてください。
9. テーブルの切欠き部をボルトと蝶ナットで固定します。



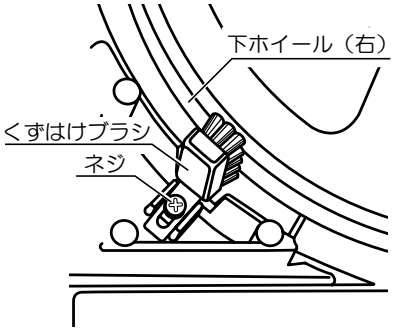
⚠ 帯ノコ刃の交換が難しいときは、無理をせず、他の人に張り調整ツマミを押さえてもらうと簡単に行なえます。

⚠ セリガイドを広げると帯ノコ刃の取付けが簡単に行なえます。

・ノコ刃の交換後は、帯ノコ刃の張り調整、位置調整、セリガイド部の調整を行なってください。

●くずはけブラシについて

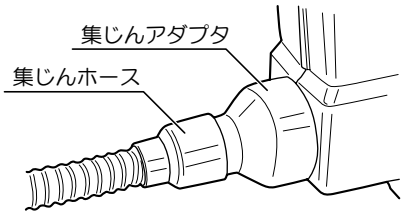
・ホイールのゴム面に切りくずが付着しないように、くずはけブラシを設けておりますが、時々、帯ノコ刃を外してゴム面上の切りくずを取除いてください。
・くずはけブラシがホイールに当たるように、ネジをゆるめて調整してください。
調整後は、ネジをしっかり締付けてください。
⚠ ブラシがホイールに強く当たり過ぎると、スムーズに回転しない場合があります。
・ブラシが摩耗した場合は、新しいくずはけブラシと交換してください。



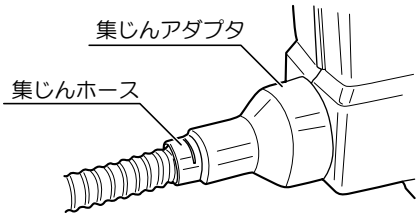
●集じんホースの取付け（別販売品）

・別販売品の集じんホースを取付け、集じん機に接続してクリーンな作業ができます。
・接続は本体のダストロに集じんアダプタをさし込み、集じんホースを集じんアダプタと、集じん機のホースに接続します。

（集じんアダプタ径……（内径）30mm
……（外径）38mm）



（本体接続側（内径）38mm 使用の場合）



（本体接続側（外径）30mm 使用の場合）

■切断作業

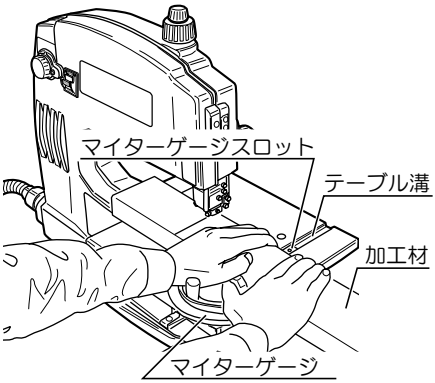
⚠ 警 告

- ソーカバーは、必ず材料の近くまで降ろして使用してください。帯ノコ刃が露出したままですと、けがの原因になります。
- 使用中は、帯ノコ刃や回転部、切粉などの排出部に手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。
- 切断する材料は、しっかりと保持してください。保持がゆるいと、けがの原因になります。
- 長い材料や重い材料を加工する時、切断中に材料の重みなどでバランスが崩れ、帯ノコ刃をはさみつけないよう注意してください。帯ノコ刃がはさみつけられると、けがの原因になります。

⚠ 注 意

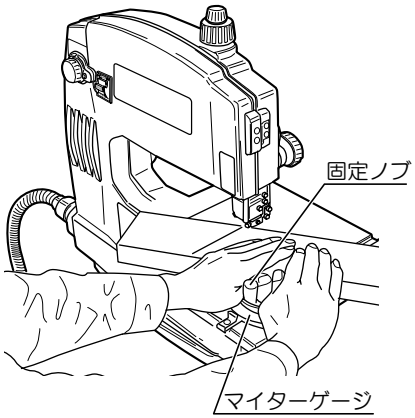
- 材料に釘などの異物がないことを確認してください。刃こぼれや、反発から思わぬけがの原因になります。
- 切断しようとする材料の前方や切断線上に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業をしないでください。手を切ったり、コードを切断し感電の恐れがあります。

1. ソーカバーを切断する材料の近くまで下げてください。
2. 切断する材料に合わせて帯ノコ刃の周速度を調節します。（P12 参照）
3. スイッチを入れ、帯ノコ刃の回転が安定してから、切断する材料の切断位置を静かに帯ノコ刃の刃先に当てて切断を開始します。
   加工材に予め切断線を引き、線に沿ってゆっくりと切断します。切断するときは、加工材を帯ノコ刃にむかわせ、押しながら切ります。マイターゲージを使用すれば、よりスムーズな切断ができます。



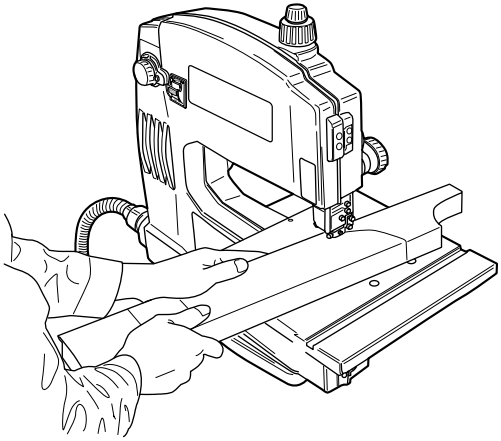
●直線（角度）切断

- 直線（角度）切断の際は、マイターゲージをご使用ください。
- テーブルの溝にマイターゲージスロットを入れ、マイターゲージの固定ノブをゆるめて角度（右 30°～左 30°）を設定します。設定後は固定ノブを締付けてください。マイターゲージの角度目盛は目安にしてください。精度が必要なときは、角度定規で予め調整してください。



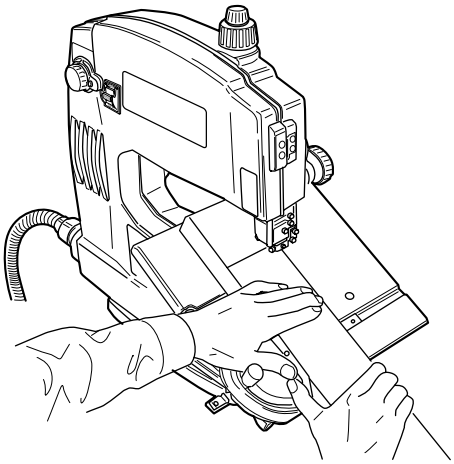
●曲線切り

・円弧や曲線を切断する場合は、送材速度（材料を切込む状態に合わせて送り込む速さ）や回転数をやや遅くすると切りやすくなります。



●傾斜切断

・傾斜固定ツマミをゆるめ、傾斜ツマミを回してテーブルの傾斜角度を合わせます。（傾斜目盛は目安にしてください。）
傾斜角度設定後は、傾斜固定ツマミをしっかりと締付けてください。



■保守と点検

⚠ 警　告
・保守、点検、部品交換などのお手入れの前に必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因になります。

●刃物の交換

・摩耗した帯ノコ刃を使用すると能率が悪いばかりでなく、モーターに無理な力をかけることになります。早めに交換してください。

●各部取付けネジの点検

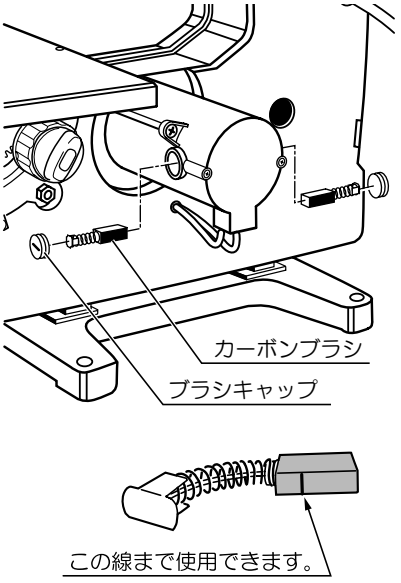
・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし､ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

・油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

●カーボンブラシについて

・カーボンブラシは消耗品です。カーボンブラシは全長の 1/3 程度に摩耗したら新しいカーボンブラシと交換してください。短くなったカーボンブラシをそのまま使用すると、火花が大きくなり、モーター焼損の原因となる場合があります。
・カーボンブラシの交換は、⊖ドライバでブラシキャップを取外し、摩耗したカーボンブラシを取出して新品と交換してください。
・カーボンブラシは２個１セットです。交換するときは指定のカーボンブラシを使用し、２個とも交換してください。
この時、カーボンブラシがブラシホルダ内でスムーズに動くことを確認してください。



●作業後の保管

・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手が届く範囲や、落下の恐れのあるところは避けてください。

●修理について

・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI

発売元
リョービ販売株式会社

本社　〒468-8512
名古屋市天白区久方1-145-1
TEL.(052)806-5111 FAX.(052)806-5141
http://www.ryobi-group.co.jp/r-sales/